

入札等監視委員会の議事概要の公表について

北九州市入札等監視委員会の平成29年度第4回定例会議を次のとおり開催したので、別添のとおりその議事概要を公表する。

記

開催日時 平成30年2月16日（金） 14：00～15：40

会 場 北九州市庁舎15階 15C会議室

平成29年度 第4回 北九州市入札等監視委員会 議事概要

1 会議名

平成29年度 第4回 北九州市入札等監視委員会

2 開催日時・会場

開催日時 平成30年2月16日（金）14:00～15:40

会場 北九州市庁舎15階 15C会議室

3 出席委員（五十音順）

今泉 恵子、上地 和久、菊池 裕子、中尾 美佐、松田 亨

4 議事

（1）平成29年度第3四半期の工事契約状況等の報告

ア 次の事項について報告した。

- ・工事契約件数及び契約金額について
- ・建設工事等有資格業者に係る指名停止及び資格取消について

（2）平成29年度第3四半期の工事契約抽出案件の審議

ア 抽出方法について

審議する案件は、平成29年度第3四半期に契約をした工事の中から、菊池委員が10件（契約課契約分8件、西部整備事務所契約分2件）を抽出した。

イ 審議における質疑等

（問） 総合評価の一般競争入札による土木工事で、入札金額が低い方から数えて4番目の業者が落札しているので、詳しい入札状況を知りたい。

（答） 価格以外の技術点等が1番高かったため落札することになった。

（問） 過去の同種工事成績の点数差が、入札結果に影響していると感じる。この成績点の比重が大きいと、新規参入の業者は不利になると思うが、不満の声はないのか。

（答） いろいろな意見をいただいていることもあり、総合評価の方式については、現在見直しをかけている最中である。結果が出たら報告させていただく。

（問） 一般競争入札と指名競争入札で類似の工事名があるが、工種が違っているため、工事内容の違いを知りたい。

（答） 同じ公園園路整備という工事名だが、一つは車が通る道路を整備する内容であったため土木工事になり、もう一つは、人が通る道を高木

を剪定し、凝木を使うなどして整備する内容であったため、造園工事になった。

(問) 指名競争入札による建築工事だが、指名業者数が82社と多いためその理由を知りたい。

(答) 市営住宅の耐震化工事は、入居したまま工事を行うことから住民の要望が多く、また、工事の音も大きいことから苦情も多く寄せられる。よって、業者からは敬遠されがちな工事であり、入札が不調に終わることも多い。そのためあらかじめ幅広く業者を指名することにしたものである。

(問) 指名競争入札による港湾工事で、落札率が99.86%と高いため、詳しい入札状況と事業内容についても知りたい。

(答) 魚が卵を産み付けるための産卵礁を海底に取り付ける工事である。他に大規模な港湾工事が市内で進行中であることから、指名された業者も既に下請として多忙であったと考えられる。よって、当工事を受注したとしても、人を新たに雇い入れねばならず、人件費がかさむことから入札辞退者が多く、また、応札してきた業者も予定価格付近の金額でなければ請負えないと判断したと考えられ、落札率の高さにつながった。

(問) 指名競争入札による舗装工事3件だが、落札率が88%台で近似しているため、詳しい入札状況を知りたい。

(答) 最低制限価格は工種によってばらつきはあるが、今回は3件とも予定価格に対して同じ位の率の最低制限価格になっていた。入札の結果、どの工事も最低制限価格付近で落札に至ったため、落札率が近似する結果となった。

(問) 指名競争入札によるとび土工工事だが、落札率が100%であるため、詳しい入札状況を知りたい。

(答) 工事場所が山奥にあるため不便であり、発注金額も少額であることから積極的に受注を希望する業者がいなかったと思われる。結果、予定価格での落札になり、落札率が100%になった。

(問) 指名競争入札による機械器具工事だが、落札率が62.28%と低いため、詳しい入札状況を知りたい。

(答) 当案件では設計金額のほとんどが機器の購入費であり、最低制限価格は設けていなかった。よって、いかに機器を安く仕入れることができるかという調達能力が、入札金額に大きく反映する形となった。落札した業者はこの調達能力が高かったため、結果、落札率が低くなったと考える。

(問) 機器は同じメーカーから、同じものを仕入れるように指定しているのか。

(答) 機器やメーカーは指定していない。仕様書では、性能が指定した一定以上のレベルであることなどの要件を定めている。

(問) 指名競争入札による解体工事だが、今回解体される外国人公舎は、何のためにあった施設なのか、また、解体工事後の利用予定を知りたい。

(答) 北九州市立大学の外国語の先生が住んでいた建物である。今後は、平地にした上で土地を売却することになるのではないかと思う。

(問) 指名競争入札による造園工事2件で、指名業者数が同じで、落札率も91%台で近似しているため、詳しい入札状況と工事内容についても知りたい。

(答) 防草対策工事は、雑草が生えにくくする工事であり、今後の除草に係る維持管理費削減を図るとともに、視認性向上により道路交通の安全を確保するものである。この工事は、手作業で草の根を取り除き、除草剤を散布するため、人権費がかさむと考えられる。入札では地元の17業者を指名したが、応札したのは7業者と少なく、人件費との採算を考えて高めに応札してきたことから、両工事とも入札率が若干高めになったと思われる。

(問) 指名競争入札によるとび土工工事で、3件ともほぼ同じ工事名なので、3件に分けた理由と、落札率が88%台で近似しているため、詳しい入札状況を知りたい。

(答) 現場は、平成29年7月7日の集中豪雨で被災した場所であり、今回の復旧工事については国から補助金をもらっている。よって、国の基準に基づき、九州地方整備局と協議した結果、3箇所を別々の工事として取り扱うことになった。工事内容は法面の復旧工事で、難易度が高くないこともあり、受注を希望する業者が多かった。このような場合には、最低制限価格近くでの価格競争になる傾向があるため、3件とも落札率が近似したと思われる。